

ポーランド国内治安関連統計（２０２５年第２四半期）

令和７年８月２９日

在ポーランド日本国大使館

１．２０２５年第２四半期（４月～６月）治安統計

国家警察本部の情報によると、２０２５年第２四半期（４月～６月）の総犯罪認知件数は２３万５，３８８件となった。

前期（２０２５年第１四半期）比では、総犯罪認知件数が７．５％増となった。例年、第２四半期は、前期比でほぼ全ての犯罪類型に増加する傾向が見られる。

前年同期（２０２４年第２四半期）比では、総犯罪認知件数が４．１％増となった。多くの犯罪類型において減少した一方、侵入盗の増加が総犯罪認知件数の増加へつながった。

	２０２４年 第２四半期		２０２４年 第３四半期		２０２４年 第４四半期		２０２５年 第１四半期		２０２５年 第２四半期		
	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	前年 同期比
総認知件数	226,200	97.2%	140,395	62.1%	190,821	135.9%	218,895	114.7%	235,388	107.5%	104.1%
殺人	152	134.5%	108	71.1%	129	119.4%	129	100.0%	142	110.1%	93.4%
傷害	2,925	139.6%	1,813	62.0%	2,592	143.0%					
暴行	880	161.2%	513	58.3%	761	148.3%					
強姦性交	347	148.3%	203	58.5%	318	156.7%	209	65.7%	324	155.0%	93.4%
強盗	1,389	124.9%	790	56.9%	955	120.9%	935	97.9%	1,383	147.9%	99.6%
窃盗	25,580	122.6%	20,172	78.9%	25,599	126.9%	19,622	76.7%	23,825	121.4%	93.1%
車両窃盗	1,508	158.7%	1,261	83.6%	2,015	159.8%	860	42.7%	1,361	158.3%	90.3%
侵入盗	16,843	96.0%	10,373	61.6%	12,366	119.2%	17,418	140.9%	17,677	101.5%	105.0%
薬物犯罪	22,948	122.8%	13,857	60.4%	15,587	112.5%	18,748	120.3%	22,091	117.8%	96.3%
偽造	4,454	115.7%	2,771	62.2%	3,684	132.9%					

（国家警察本部提供の統計を基に作成）

※傷害及び偽造については、２０２５年第１四半期以降、国家警察本部提供の統計から削除。

２．邦人被害発生状況（当館に報告のあった事案）

- ５月２日、ワルシャワ市内の国立競技場で行われたポーランド国内リーグ決勝の試合前、某チームのサポーターの行進に参加していた邦人が、他のサポーターから頭部を殴打された。

3. 日系企業の安全に関する諸問題等

- 日系企業の安全について、特段の問題は確認されず。

4. テロ関連事案

- 6月中旬、内務・行政省公安庁（ABW）のヤツェク・ドブジンスキ報道官は、ABWオルシュティン支部（ヴァルミンスコーマズルスキエ県に位置）が、テロを計画していたとして19歳の青年3人を拘束したことを発表した。3人のうち2人は過去にも拘束された記録があり、3人全員がオルシュティン地方検察に起訴された。検察によると、3人は、銃器の使用方法、射撃姿勢、屋外・屋内における戦闘作戦、爆発物の製造方法等に関する情報を収集していた。また、過去に無差別大量殺人を行ったアンネシュ・ブレイビクやブレントン・タラントに関する情報を集め、彼らの過激なイデオロギーに感化されていた。某メディアが入手したとされる非公式情報によると、容疑者らは、学校のほか、LGBTプライドパレードなどの大規模集会を標的としてテロを計画していた可能性があるという。

5. その他参考事案

- 4月17日、ポーランドで、「祖国防衛及びスパイ対策法」の国防大臣規則が施行された。同法及び規則には、安全保障上重要な施設等を撮影した場合、罰金等が科せられる旨規定されている。この規定では、撮影禁止の標識（※）が付された施設や当該施設内に位置する人・動産を許可無く写真撮影、映像撮影、その他方法で記録した者は、拘留又は罰金が科せられ、写真撮影等に用いられた機材は没収を命じられることがある。対象施設は、安全保障又は防衛上特に重要な施設や重要インフラ施設とされるが、具体的な施設は例示されていない。一部報道によると、撮影禁止の対象施設は、基地や装備品保管庫といった軍事関連施設に加え、軍事関連施設周辺の橋・トンネル、空港内の特定施設、船舶港、行政庁舎、通信インフラ施設、国立銀行等も対象になるとの見方が示されている。

※ 標識のサンプルは、下記リンク先の「2025年3月27日国防大臣規則官報」の3頁目に掲載。

<https://dziennikustaw.gov.pl/D2025000043201.pdf>

（次頁に参考情報として中・長期的な治安統計を掲載）

【参考：過去5年の犯罪認知件数の推移】

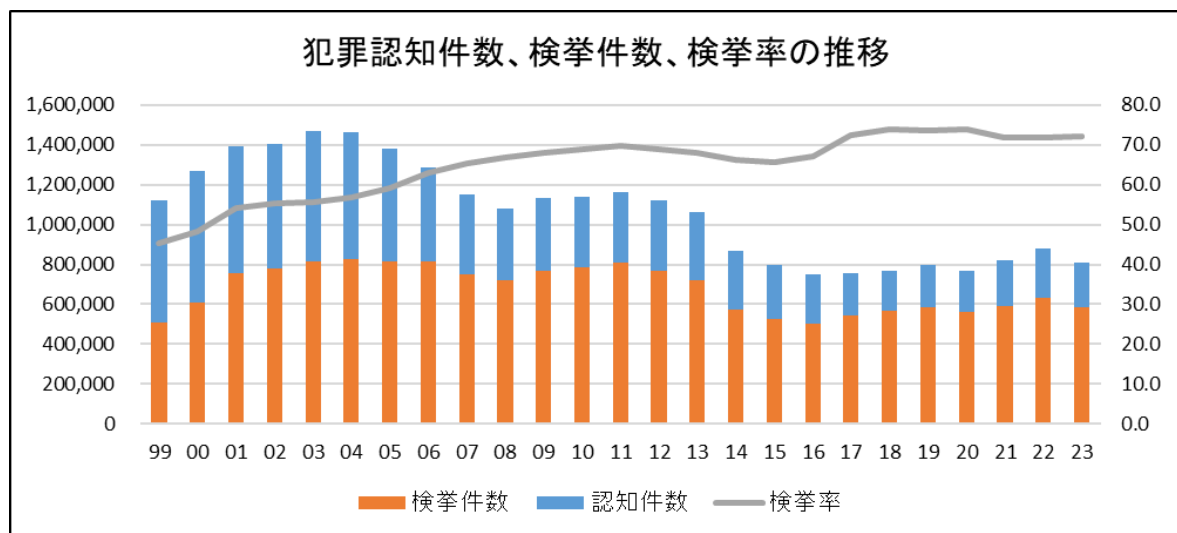
- 総認知件数は、2020年以降増加傾向にあったが、2023年以降減少に転じた。
- 車両窃盗及び侵入盗は、2021年以降、減少傾向にある。
- その他犯罪類型は、増減するも特段の傾向は見られない。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
総認知件数	784,214	109.7%	880,704	112.3%	880,931	100.0%	809,133	91.8%	790,065	97.6%
殺人	653	141.0%	623	95.4%	506	81.2%	565	111.7%	502	88.8%
傷害	9,603	98.5%	8,392	87.4%	9,549	113.8%	9,329	97.7%	9,425	101.0%
暴行	3,226	91.5%	2,482	76.9%	2,888	116.4%	2,842	98.4%	2,700	95.0%
強制性交	1,076	86.2%	1,161	107.9%	1,108	95.4%	1,111	100.3%	1,102	99.2%
強盗	5,284	92.8%	4,646	87.9%	4,823	103.8%	4,647	96.4%	4,246	91.4%
窃盗	100,074	112.8%	116,691	116.6%	123,589	105.9%	119,701	96.9%	92,220	77.0%
車両窃盗	8,828	119.3%	8,056	91.3%	7,423	92.1%	6,375	85.9%	5,734	89.9%
侵入盗	74,339	119.7%	72,324	97.3%	70,069	96.9%	64,347	91.8%	57,133	88.8%
薬物犯罪	66,425	113.4%	73,157	110.1%	69,991	95.7%	67,251	96.1%	71,081	105.7%
偽造	17,191	94.5%	13,416	78.0%	13,812	103.0%	13,522	97.9%	14,758	109.1%

(国家警察本部提供の統計を基に作成)

【参考：長期的な犯罪認知件数等の推移】

- 2000年代初めに一時的に治安が悪化したが、警察による取締強化や警察能力の向上によって治安が改善し、近年の治安状況は安定している。



(国家警察本部提供の統計を基に作成)